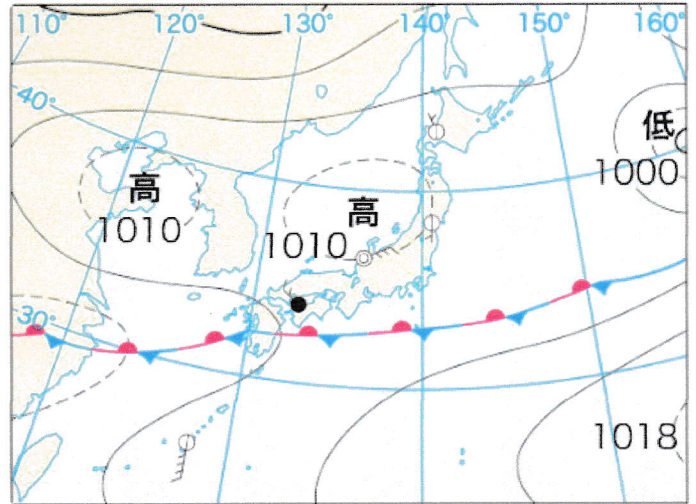
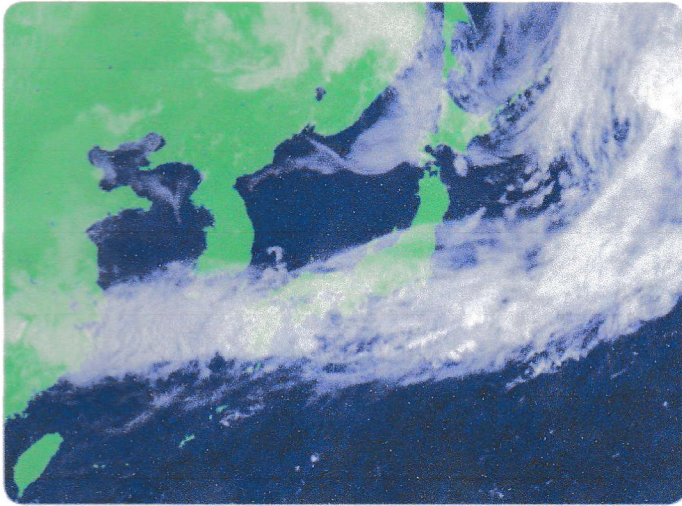


1 日本の天気の特徴【つゆ（梅雨）】（教科書 P.189）を読んで次の空欄に当てはまる語句を答えよう。



初夏のころには、日本列島付近では、(① )の(② )小笠原気団(③ )と(④ )の(⑤ )気団(⑥ )の間に(⑦ )ができて、(⑧ )の日が多くなる。この時期を(⑨ )といい、つゆの時期に日本列島付近にできる停滯前線を(⑩ )という。夏の終わりにも、梅雨前線と同じような停滯前線ができるが、これは(⑪ )とよばれる。

つゆや秋雨の時期には、太平洋からユーラシア大陸に向かってふく(⑫ )などにより、海から大量の(⑬ )が運ばれてくる。水蒸気を大量にふくんだ空気は、(⑭ )付近で上昇し、日本列島に(⑮ )を降らせる。

■秋に続く雨のことを(⑯ )などと表現する。

2 NHK for School 理科クリップ「梅雨の天気は？」を見よう。



- ①NHK for School のホームページを開く。
- ②「クリップ」をクリック！
- ③「教科：理科 学年：中・高 キーワード：天気」と検索する。
- ④「梅雨の天気は？」をクリック!!

答え：①南②あたたかくしめった③太平洋高気圧④北⑤冷たくしめった⑥オホーツク海気団⑦停滯前線⑧雨やくもり⑨つゆ（梅雨）⑩梅雨前線⑪秋雨前線⑫季節風⑬水蒸気⑭停滯前線⑮大量の雨⑯秋の長雨